

平成27年度 大阪市立森之宮小学校経営方針

◆ 学校教育目標 「基本となる考え方」

《心豊かに 力強く 生き抜き 未来を切りひらく力 の育成》

森之宮小学校

・ 校訓 **こころとからだを きたえ たくましく**

・ めざす子ども像

深く考える子

豊かに感じる子

力を合わせる子

明るくはきはきした子

からだをきたえる子



- ・ 子供たちが互いに認め合い高め合う集団の育成
- ・ 教科・領域の中で、「考える 書く 聞きあう 話し合う 深く考える」指導や支援
- ・ あらゆる教育活動の場で、リーダーシップとフォロアーシップの育成
- ・ 「あたりまえ」のことをあたりまえに行うことができる力の育成

森之宮小学校の教職員は 森之宮小学校のすべての子どもたちの担任

◎ よいところは**おいにほめよう**

◎ ルールやマナーを守れるよう**みんなで指導・支援しよう**



子どもも教職員も生き生きと元気に活動する学校にしよう。

- ◎ 学びの場にふさわしい、環境の整った美しい学校にしよう。
- ◎ 規律正しい秩序ある学校にしよう。
- ◎ 指導力を深める研修活動の活発な学校にしよう。
- ◎ 尊敬と信頼のある和やかな温かい学校にしよう。

このような学校づくりをめざし、その中で展開される教育の充実を願って、以下のことを基本方針とする。

(1) 信頼される教職員

- | |
|----------------------|
| 1 子どもと共にある教職員でありたい。 |
| 2 自ら学び、実践する教職員でありたい。 |
| 3 協力して、助け合う教職員でありたい。 |

(2) 教育環境の整備

学習するのに便利で、しかも、安全・衛生的であるように常に整備する。

- 整理整頓(学級教室内、特別教室内、校舎内の廊下や運動場、校舎外の道路等)
- 整備と活用(教材・教具・資料、施設・設備・備品)
- 学級運営に児童の創意を生かす

(3) 学力の向上をめざす(「読み」「書き」「計算」の基礎学力をしっかりと身につけさせる)

- 研究授業の充実…指導力・チーム力を向上させる研修の工夫
- 授業力の向上…「わかる」「できる」という自己効力感を高める

(4) 望ましい評価をすすめる

- 絶対評価：評価尺度を共通理解する。

(5) 一人一人の子どもを正しく見つめる(基本姿勢)

- 一人一人の子どもの可能性を最大限に伸ばす。
- 各教職員が、子どもたちを多角的に見つめる。
- 常に温かい心のふれあいの場を大切にしていく。

(6) よい生活習慣を身につけさせる

- 教育活動にゆとりと変化をもたせる。仲間づくりを通じて友だちを大切にし、仲間とともに成長しようとする子どもを育て、健康で安全な生活習慣を身につけさせる。
 - ・ 児童集会…楽しい集会活動を通じて、協力する心・連帯感を育てる。
 - ・ 集団生活…規範意識、協力する心、思いやりの心の必要性を理解させる。
 - ・ 後始末の徹底…公共物や自分の物を大切にさせる。
 - ・ 基本的な生活習慣の確立…「早寝・早起き・朝ごはん」の励行など。
 - ・ 正しい言葉遣いの励行…TPO(時・場所・場合)に応じた言葉づかい。
 - ・ コミュニケーションの基本であるあいさつをすすんでできるようにする。
 - ・ 服装や身だしなみを整えさせる。
- 朝の会・帰りの会での指導の充実…学級活動の充実と実践化を図る。
- 児童・教職員の感じた「気がかりなこと」を手がかりとして、家庭とも連携し、問題を具体的な解決に導く。
- 教職員間の情報交換を密にする。

(7) 保護者・地域との連携を図る

- 基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ごはん 時間を守る」
- 学習規律 「忘れ物をしない 宿題はしっかりとする 話はよく聞く」
- 規範意識 「交通ルールや公共のマナーを守る 挨拶をする 協力する」